



▲担当楽器のクラリネットを吹く、部長の石岡さん

たくさんありますが、まず、挨拶や返事を大切にしています。顧問の先生や部員に返事や挨拶をしなかったり、聞こえていなかったりしたらすぐ失礼ですよ。部活動内外問わず、「返事や挨拶は積極的に大きな声で、フントーン高く！」を意識しています。

また、楽器を演奏する時は、ピッチ（音程）を外さないことだけでなく、思いっきり息を吸って大きな音を出すことを心がけています。これは挨拶や返事と同じで、自信なさげに小さな音で演奏していると聴いてくれる方々に失礼だと思えます。さらに、聴いている側も演奏する側も、音楽を楽しむことができます。人前で演奏するのはとても緊張しますが、恐れることなく堂々と演奏し、聴いてくれる方々も私たちも、音楽を楽しみます。

問3. 部員全員で心がけていることは何ですか？



▲同じ動きのパートごとに練習する様子

問4. 部活動を通して、大変だったことは何ですか？

中学生になると、委員会や生徒会等、放課後でも忙しいことが増えて、練習時間が少なくなり焦ってしまいますが、その分朝練習を思い、頑張っています。

また、吹奏楽コンクールが迫ると、練習スケジュールも練習内容も、よりハードなものへと変わってきます。どんなに忙しくて疲れていても休まず、ほんの少しの時間でも詰めて練習しなければなりません。

正直大変だと感じてしまうことが多々ありますが、その分達成感や計り知れないほど大きく、緊張しながら練習成果を形にしたあの瞬間は、忘れられません。

問5. 部活動を通して、印象に残っていることは何ですか？

中学2年生の頃の、吹奏楽コンクール地区大会です。1年生の頃は出場できなかった私にとって、初めてのコンクールとなりました。本番ではかなり緊張し、序盤はあまり音を出すことができませんでしたが、徐々に自分のペースを取り戻し、落ち着いて難しい部分を吹くことができました。演奏後、椅子から立つ瞬間も緊張しましたが、先輩方と1年間の中で最も大きなステージに立てたことを実感し、達成感とともに、大きな嬉しさがこみ上げてきたことを覚えています。

また、『イカまつり』や『カントリーフェスティバル』、『町民文化祭』など、福島町で演奏させていただく機会がたくさんあり、演奏自体が楽しいのはもちろんですが、地域の人が楽しんでくれることが、すごく嬉しいです！



▲合奏練習の様子

問6. 最後にありますが、2週間後に控えた『吹奏楽コンクール 函館地区大会』への意気込みを聞かせてください！

私も含め、中学3年生の部員は今回が出場できる最後のコンクールとなります。直近だけでなく、3年間分の練習の成果をしつかりと発揮し、悔いの残らない特別な1日となるように演奏したいです。

目標はもちろん「ゴールド金賞！」ですが、その前にミスを恐れずしっかりと大きな音を出し、曲を最後まで吹き切って、笑顔でステージに立てるよう努めたいです。



▲昨年のイカまつりでの吹奏楽ステージの様子

『吹奏楽コンクール』、『イカまつり』、『カントリーフェスティバル』、『定期演奏会』とこれからもたくさんの行事がありますが、一つ一つの曲に全力で笑顔と気持ち、思いを込めて演奏します。

これからも福島中学校吹奏楽部の応援を、どうぞよろしくお願います！